

第3回 大阪市立南田辺小学校 学校協議会 実施報告書

学校名 大阪市立南田辺小学校

校長名 笹部 靖憲

日時	令和8年2月25日(水) 19時00分~20時30分(1時間30分)	
場所	大阪市立南田辺小学校 会議室	
出席者	坂本 敏和(委員長) 伊藤 博(委員) 三宅 智恵美(委員) 杉田 寿男(委員) 那須 香織(委員) 吉富 瑠理子(委員) 木村 英輔(委員) 笹部 靖憲(委員) 濱澤 和之(委員) 区役所 隅田 嘉昭	
議題	(1) 運営に関する計画最終評価について(2) 学校行事などの取り組みについて(3) その他	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○学校行事などの取り組みについて ○運営に関する最終評価について ○その他 (2)	<p>・学校でのタブレット端末活用について 委員：スマホ依存、幼少期から長時間使っていることが心配だという声があるが、学校もそれを助長しているのではないかと。 校長：弊害はみられるかもしれない。タブレットを閉じるべきときに閉じられないことや書字が雑になっていることはある。 委員：ICTも大事なことはわかるが小さい頃は書くことが大事だ。 校長：昨年、LDXの指定校だったということで、2月20日に5・6年の授業を東京から視察に来られた。子どもたちが取り組む様子から、入力が速い、調べたことを傍にいる友だちと相談し意見交流、互いに画面を見せ合いながら話し合いをするなど、いろいろな活動を行っていた。これはこれで進めていかなければならない。</p> <p>・現場が目の前子どもでなく数値に追われてないか 委員：社会全般に、数字が入ってきており、教育現場も同様である。だが、教育が数字に追われていいのかと思う。数字よりも子どもの顔を見ていくべき。アンケートの結果、「いじめはいけないと思う」90%の子はよい。残りの10%の子をどう減らしていくか。小学校で「人としての考え」「優しさ」はある程度作らないと。あまりにも数値に頼りすぎている。 委員：図書が数値が30冊以上、借りる数値より、本は楽しいものと思うことが大事 校長：借りる冊数が増えるとそれだけ触れるきっかけになる。 委員：長居公園を長居小、矢田西小はよく利用している。南田辺小ももっと使ってほしい。</p>
協議資料	○令和7年度 運営に関する計画最終評価	
備考	傍聴者0名	